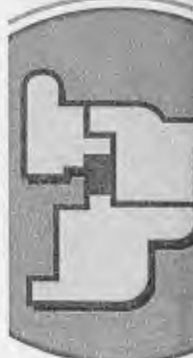


# 千葉



千葉日報WEB  
http://www.chibanippo.co.jp  
メールアドレス  
c-nippo@chibanippo.co.jp

本社 TEL 043(222)9204 FAX 043(224)7000

催しや公演などの情報がありましたらお知らせください。

## 千葉空襲から66年

# 慰霊碑建立へ協力呼び掛け

## 犠牲者確認で7月に集い

市の中心市街地が焼け野原となった千葉空襲から66年。空襲を後生に伝える活動を続けている「千葉市空襲と戦争を語る会」は、犠牲者の慰霊碑を建立するための名簿作成に取り組んでおり、2度目の空襲があった日に合わせ7月7日には戦争を繰り返さないための集会を開き、市民に協力を呼び掛ける。



市が発行する「千葉空襲」な空襲は1945年6月10日と7月7日であった。2度目の空襲で、中心市街地約

千葉空襲を後生に伝える活動を続けている白井進さん(左)と市川まり子さん

330軒のうち約7割に当たる231軒が焼け野原になった。死傷者は1595人とされているが、正確な犠牲者数は判明していない。

同会は2009年、約120人から聞き取り調査をして編集した戦争体験集「千葉市大空襲とアジア・太平洋戦争の記録100人の証言」を出版。同時に千葉空襲で亡くなった人の確認作業も進めてきた。

これまでに、市内各地の寺院などを訪ねて独自に調査を続け、335人の犠牲者の氏名を確認したという。だが、体験者の高齢化などで徐々に確認作業は困難になっているといい、集会を開いて当時の状況を知る遺族らに協力を呼び掛けることにした。

同会代表の白井進さんは

「空襲を忘れないためにも市全体の慰霊碑は必要で、そのために多くの人に協力してほしい。市にも協力を呼び掛けた」と話している。集会は紙芝居などを通じて戦争の悲惨さを訴えている。「ちば・戦争体験を伝える会」との共催で、同会の市川まり子さんも「平和の大切さを伝えたい」と呼び掛けている。

「戦争を繰り返さないための集い2011」は、7日午後2時から、市の文化センター9号室で開催。参加無料。100人。紙芝居や各地の空襲体験者との談話を語る。問い合わせは語る会の伊藤章子 080(530)739。